

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 茨城県稲敷市
 本事業の担当部局名 保健福祉部こども支援課

事業メニュー	結婚_妊娠_出産_子育てに温かい社会づくり_気運醸成事業							
区分	一般メニュー							
関連事業メニュー	3_1_1 その他、結婚、妊娠・出産、子育てに温かい社会づくり_気運醸成事業							
個別事業名	稲敷市子育て支援情報発信事業					新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間	令和8年4月1日	～	令和9年3月31日	事業開始年度	平成28年度			
総事業費(A)(円)	396,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0	差引額(A-B)(円)	396,000		
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	396,000							
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	0	0	0	0	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金	計		
	総事業費	0	396,000	0	0	396,000		
	対象経費支出予定額	0	396,000	0	0	396,000		
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0		
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 当市では、令和4年には市全域が過疎地域に指定され、令和6年に策定された『第3次稲敷市総合計画』において様々な施策に取り組んできたが、人口減少・少子高齢化は予想を上回る速さで進展している。婚姻数・婚姻率・合計特殊出生率ともに低下を続け、いずれも茨城県の平均よりも低い状況にあり、さらに対策を講じる必要がある。</p> <p><本個別事業の位置付け> 「第3次稲敷市総合計画」の重点プロジェクト「子育て支援・教育プロジェクト」の取り組みの1つとして「安心して生み育てられる環境づくり」に努めている。本事業は、妊娠、出産、子育てに関する施策等の情報を積極的に発信するとともに必要な情報を提供できるよう、「子育て支援アプリ」を拡充させ、安心して生み育てられる環境づくりを推進するもの。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容					
	1	子育て支援アプリの継続導入	【令和8年度から拡充】 ・子育て関連イベントや子育て支援サービス等の情報発信 ・新生児訪問時、子育てひろばや地域子育て支援拠点での利用案内 令和8年4月1日契約予定 委託先: 母子モ株式会社					
	2							
	3							
<p><過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> ・次年度以降も事業を継続し、より多くの家庭にアプリを利用してもらえるよう内容を拡充させ、子育て世代への周知に努める。 ・アプリのダウンロード数や利用者へのアンケートとに基づき、内容や周知方法を検証し、より効果的な実施方法を検証する。</p>								

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	合計特殊出生率			1.2 (R9年)	1.10 (H30~R4平均)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.10 (H30~R4年平均)	
	婚姻件数		件	65 (R5年)	
	婚姻率			1.8 (R5年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	累計アプリ登録者数	人	600 (R8年度)	544 (R6年度)
	②				
	③				
	④				
	⑤				
	(アウトカム)				
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	---	---
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---	---
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---	---
	④	アプリ利用者満足度	%	80 (R8年度)	60 (R7年度)
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					